

第106号 2025年 1月 1日

発行所/ 神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360

(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <https://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します



謹 賀 新 年

病院長 江藤秀頭

2025年の始まり。この一年で21世紀の四分の一が過ぎることになる。早いものである。2001年9.11のアメリカ同時多発テロは世界中に衝撃を与えた。その後イスラム過激派の台頭とテロの横行。クリミア半島やパレスチナ周辺での戦闘は今も続いている。我が国の隣国でも核ミサイル開発や領海侵犯が頻回に起きており大きな懸念である。まさに新しい戦前といった様相である。

2011年3.11の東日本大震災と原発事故は大きな被害をもたらした。これまでも地震は日本列島の各地で発生し、台風や土砂災害による被害も毎年のように起こっている。火山の噴火もあった。今後も何が起こるかわからない。常に備えておく必要がある。

日本人の人口は2006年の1億2783万人をピークに減少に転じている。少子高齢化は進み、四人に一人は後期高齢者になる。日常生活では携帯電話の普及は著しく、スマホに変わり今や生活必需品となった。今後はAIの利用もさらに進むであろう。便利になった一方で失われた30年と言われる経済の低迷もあり生活の豊かさはなかなか実感できない。政治資金の裏金問題など政治家の質は低下し、首相が変わっても期待感を持ってない。我が国の国力が衰えてきた感じがする。明るいニュースがなかったわけではない。山中伸弥先生のノーベル賞受賞やイチロー・大谷翔平選手らの活躍は嬉しい限りである。今後も若い人に頑張ってもらいたいと思う。

医療界ではここ数年の新型コロナウイルスの流行は記憶に新しい。医療崩壊が叫ばれ、ワクチン接種に躍起になった。すでに季節性の感染症になった感もあるが、あと数年は油断できないであろう。地方の医師不足や医師の偏在は相変わらず続いており、なかなか解決策は見つからない。

昨年当院は創立135周年を迎えた。地域の住民に愛され、信頼されてきたからこそ長く続けられてきたと思う。今年巳年。くねくねと難題を乗り越え前進しながら脱皮し、新たな気持ちで成長する神山復生病院であり続けたいと思う。職員一同の頑張りに期待し、充実した一年になることを願っている。



合同避難訓練

事務部 後藤和也

今年度の合同避難訓練は11月27日（水）に実施しました。今回は神山復生会の各事業所に加え、御殿場消防署富士岡分署の方々にもご協力をいただきました。

訓練内容は想定地震の発生、安全行動、情報収集、状況判断、安全確認の為の一次避難という流れで実施しました。

消防隊員の方々は、避難経路や各部署の廊下に待機し、職員の行動を一つひとつチェックされていました。総括では、職員一人ひとりが防災意識を高めてこそ安全な避難が可能になるとお言葉をいただきました。地震に限らず、今年は雪が積もるかもしれませんので、雪害に対しても早目早目の情報収集を怠らずに行っていきたいと思います。



マリアの家 餅つき大会

小規模多機能型居宅介護事業所マリアの家
管理者 小野 雄大

12月8日（日曜日） 10:00~12:00、神山復生病院受付前ホールにおいて「マリアの家餅つき大会」を盛大に開催することができました。地域の方々との交流も目的の一つとして、神山区で回覧板による案内をさせて頂きました。長寿福祉課の皆様はじめ、神山区区長のお力添えもいただき、お子様から大人の方まで、大勢の方がお越しくださいました。

また、同法人の介護医療院も合同で準備から、お手伝いいただき、マリアの家と謳いましたが、法人全体での行事となりました。事故なく行うことができ、お子様が餅を搗くと、拍手が上がり、のどかで和やかに行うことができました。利用者様が、「俺につかせて」とおっしゃり、杵を持って餅を搗くことができ、嬉しそうな表情を浮かべている姿は、私たちも「やって良かった」と思えました。お汁粉・お雑煮・大根のおでん等を提供させていただきましたが、「美味しい。雑煮をおかわりしちゃった」とおっしゃるお子様や、餅を上手に召し上がる高齢の方など、皆様が楽しそうに過ごされており、とても良い行事になりました。今後も地域の皆様のご期待に沿える施設に発展できるよう、日々邁進していききたいと思います。



今回のおすすめ

『ラーメン麦と鶏』

御殿場市萩原 25-1



私のおすすめラーメンは御殿場市にある麦と鶏です。初めての味！と見た目！とびっくりするラーメンです。とてもクリーミーなスープは鶏白湯スープ。味は濃厚ですが、なぜかさっぱりしていて飲み始めたら止まりません。

季節限定メニューやつけ麺、ご飯・唐揚げもあるので、ぜひホームページでメニューをチェックしてみてください。営業時間が15時までなのでランチに体も心も温まるラーメンはいかかでしょうか。（紹介者 事務部 高村愛夏）

神山復生病院のクリスマス



介護医療院・ホスピス病棟 合同クリスマス会

介護医療院 勝又悠樹・ホスピス病棟 吉田浩美

12月14日(土)に介護医療院とホスピス病棟合同でクリスマス会が行われました。14時からホスピスラウンジで神山復生病院のクリスマス会が行われました。Sr 今田の「クリスマスってなあに？」の優しい語り口の紙芝居と Sr 斎藤の清らかな歌声からスタートしました。紙芝居の後には男女のユニット「みさもん」のノリノリな曲で盛り上がりました。手でリズムを取る人や身体を揺らしている方々もいました。みさもんは「もしもピアノが弾けたなら」「Joyful. joyful」「クリスマスメドレー」等を披露してくれました。デザートバイキングは栄養課・エームサービスさんの力作デザート6種類から選ぶことが出来るという豪華な物で、皆さんの満面の笑顔を見ることができ、楽しいクリスマス会になりました。



嬉しいうれしいサンタクロースの訪れ



シスター徳永美智子

毎年、11月末になると 神山復生病院の院内はイエス・キリストの誕生をお祝いするイベントの準備が始まります。その一つが各病棟と聖堂に飾られた馬小屋です。馬小屋は「イエス・キリストの誕生の様子を再現」したものです。

12月15日(日)は座間米軍キャンプのカトリック教会から約40名近い方々がプレゼントをもって訪問してくださいました。今から50年前より座間、厚木、横須賀の米軍キャンプから有志の方たちがクリスマスキャロルを歌いに来られ、入院されている方たちと交流の場を持っています。12月24日(火)はクリスマス夜半のミサがあり、入院されている方、ご近所の方たちが参加されました。12月25日(水)には午前9時から始まった日中のミサ。午後にはボランティアさんによる音楽コンサートと静岡雙葉学園の生徒さんたちのクリスマスキャロルが行われました。静岡雙葉学園の小羊会(生徒活動クラブ)の訪問も長い歴史を持っています。学生が手作りのクリスマスカードを入院されている方たちに手渡し、ひと時の交流の場を持ちました。若々しい歌声と笑顔に癒される一日でした。

- ∴ 約2千年前に生まれたイエス・キリスト。カトリック教会は4世紀から、12月25日をイエス・キリストの誕生を祝う日としてきました。クリスマスとは：キリストのミサという意味の英語です。ミサはカトリック信者の礼拝であり、大切な”祭り”です。
- ∴ サンタクロースとは聖ニコラオ(トルコのキリスト教の聖職者)がお金に困っている家族のために金の塊をその家に投げ入れ、それが子供たちの靴下や靴に入ったなどと伝えられています。





外来担当表

緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	内科(中原)	内科(江藤) 皮膚科 (加藤・今村)	休診	内科(江藤)	内科(若杉)	内科 (第1.3 江藤) (第2 岡部) (第4 中原) 皮膚科	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診	休診	

インフルエンザワクチン・コロナワクチンの接種の予約を承っております。

皮膚科外来予定表

2月以降の診察はHPにてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。



太田有史 医師	1月 4日(土)
加藤美美 医師	1月 7日(火)・21日(火)
今村菜奈 医師	1月11日(土)・14日(火) 28日(火)
太田真由美 医師	1月18日(土)
福地 修 医師	1月25日(土)

皮膚科外来は、毎週火曜日と土曜日の午前に行っています。



皮膚科外来終了のお知らせ

当院の皮膚科外来は、令和7年3月末で終了させていただくこととなりました。外来患者様には、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほどをお願い申し上げます。
なお、継続して皮膚科診療が必要な方には、近隣の医療機関等をご紹介させていただきます。詳しくは、診察の際にご案内いたします。

岩下壮一神父特別展



昨年5月より『岩下壮一神父特別展』を開催しております。生誕135年ということで、誕生から亡くなるまでの年譜や復生病院での業績、岩下家ゆかりの品々など展示、昭和9年に制作された記録映画の視聴ができます。今年は岩下神父が叙階(神父になって)100年とアニバーサリーイヤーが続きます。他方ではイベントなどが計画されているようです。この特別展は3月31日まで開催していますので、気になる方はぜひお越しください。お待ちしております。
お越しの際はご予約をお願いいたします。

(復生記念館 TEL/0550-87-3509)

記念館 森下裕子

編集後記

明けましておめでとうございます。今年の干支は乙巳ですね。蛇は再生や永遠の象徴とされ、皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わる姿がその象徴となっていて、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年とも解釈されているそうです。

私は今年、環境が大きく変わるので、持ち前のプラス思考を生かし、日々を楽しみながら生活していきたいと思います。今年もよろしく願いいたします。次号もお楽しみに!

